

裏山の貯水タンクから集落へと続く40ミリのパイプ



# 山奥の小さな過疎集落に 安定した生活用水の確保を

竹野地域には過疎化が進む小さな集落があります。今回は、安定した生活を実現するため、今年1月、集落の簡易水道の改修作業に貢献した一人の男性を紹介します。

有馬 孝治<sup>こうじ</sup>さん(70歳)竹野町川南谷<sup>かんなだに</sup>在住

## 安定した生活を指して 簡易水道を設置



川南谷地区の区長を務める有馬さん。長年、工務店に勤務した経験を活かし、同地区の簡易水道設置に貢献する。趣味は山を散策し、四季の変化を楽しむこと

竹野町川南谷地区は、全7戸11人が住む小さな農山村集落です。南竹野地区の山深い地域に位置し、周囲には山と棚田が広がっています。同地区の区長を務める有馬孝治さんは、長年の工務店勤務の経験を活かして、同地区の簡易水道の改修作業に貢献しました。

もともと山奥に位置する同地区には町水道がひかれることはありませんでした。しかし人が生活する以上、安定した生活用水の供給が必要です。昭和36年、地区住民が簡易水道を備え付けようと立ち上がり、一致団結のもと作業を着実に進め、同年に完成させました。

## 悩み続けた冬の凍結

そんな中、ある問題が浮上りました。それは、貯水タンクから同地区にひいているパイプの細さからくる冬の凍結です。この問題が生じると、安定した生活用水が供給されません。これを解消しようと昭和53年、貯水タンク1基を別の場所に追加設置しましたが思うような結果にはなりませんでした。こんな経緯の中、有馬さんは、冬季の生活用水の供給を良くしようと、今年1月改修作業を始めました。

## 希望もつないだ 裏山から420メートル のパイプひき

地区に安定した生活用水を確保しようと、知人や友人たちと一丸となって大作業を成し遂げた有馬さんは、今回の作業をこう振り返ります。

「私たちの住む川南谷地区は、高齢者しかいません。私ももう70歳ですが、この地区では最年少です。だから、地区住民に頼ることができず、自分しかいないと思うと、不思議と力がみなぎりました」と簡易水道を改修しようと思いついた経緯を話します。

## 生活のために努力 心の支えは絆

同地区では、今回の改修以



自身が掘り進んだ土壁を見上げる有馬さん。狭い場所には重機が入れないためすべて手作業

後、冬でも凍結せず豊かな生活が続いています。「少しでも暮らしを良くしようと、改修工事に立ち上がりましたが、大変な作業の前に一人ではどうすることもできませんでした。そんな時、私の背中を押してくれたのが妻であり、知人であり、友人たちでした。あの時の心強さは今でも忘れられません。あの支えがあったからこそ、今の生活があるものだと思っています」と苦労話を交えながら話す有馬さん。

夢いっぱい 笑顔いっぱい やる気いっぱい

## 西気小学校 (日高)

案内者 新田 冴恵さん



西気小学校は、豊岡市と香美町を結ぶ国道482号沿いに位置し、周囲には神鍋高原の雄大な自然が広がっています。夏は合宿地としてスポーツに汗を流す若者たちの歓声がこだまし、冬には銀世界となり、スキーやスノーボードを楽しむ人たちにぎわっています。



神鍋高原の自然そのものを教材にしている西気小学校

西気小学校に通う新田冴恵さん(6年)は、保育園の時から習っているピアノが特技です。将来はパティシエになって自分のお店を持ちたいと夢を描く新田さんに、西気小学校を紹介してもらいました。

私が通う西気小学校の特徴は、恵まれた自然環境を活かして「スキー教室」が行われることです。毎年1月から3月は、地域のボランティアの方々から教わりながら楽しくスキーをしています。5日間の日程で練習した後、スキー大会を行い、ジャイアントスラロームのタイム計測をして、どれだけ上達したか確認します。

今年、雪があまり降らなくてスキー教室ができなかったのも残念でした。また、10月には地域の高齢者と交流する「お年寄りとおれあう会」をしています。

5年生の時は、地域の方と一緒にかしわもち作りに挑戦

しました。もちにあんこを詰めて丸めるのが少し難しかったけど、「上手だね」と褒められたことがとてもうれしかったです。その後、みんなで一緒にかしわもちを食べて楽しい時間を過ごしました。

それから、わくわくランドも西気小学校の特徴です。これは、児童会が企画したゲームを、休憩時間やお昼休みに縦割りチーム対抗でするものです。みんなでゲームするので、全員が仲よくなれます。



地域の方々に支えられながら行われるスキー教室

西気小学校は、神鍋高原の自然そのものを勉強に使っています。そして、地域の人たちに支えられながら心も身体も成長できるような取り組みをしています。

## 笑顔の顔輪

みんなで楽しく

フットサル  
「CAPTHY」(出石)

出石地域の「CAPTHY」は、フットサルをしているグループです。毎週火曜日の午後8時から10時まで、小野小学校体育館で汗を流しています。

現在、メンバーの募集をしています。思いっきり体を動かすことができます。また、屋内でできるスポーツなので、天候に左右されずにプレーできる気軽で楽しいスポーツです」とその魅力を話します。

本グループは、何かに打ち込んで体を動かそうと、代表の川見達也さん(出石町分)とその友人2人で平成16年に発足しました。その後、着実にメンバーを増やしながら、現在、10人で活動を続けています。

現在、メンバーの募集をしています。思いっきり体を動かすことができます。また、屋内でできるスポーツなので、天候に左右されずにプレーできる気軽で楽しいスポーツです」とその魅力を話します。



「練習は楽しく」がモットーのCAPTHYメンバーの皆さん。ただいまメンバー募集中